

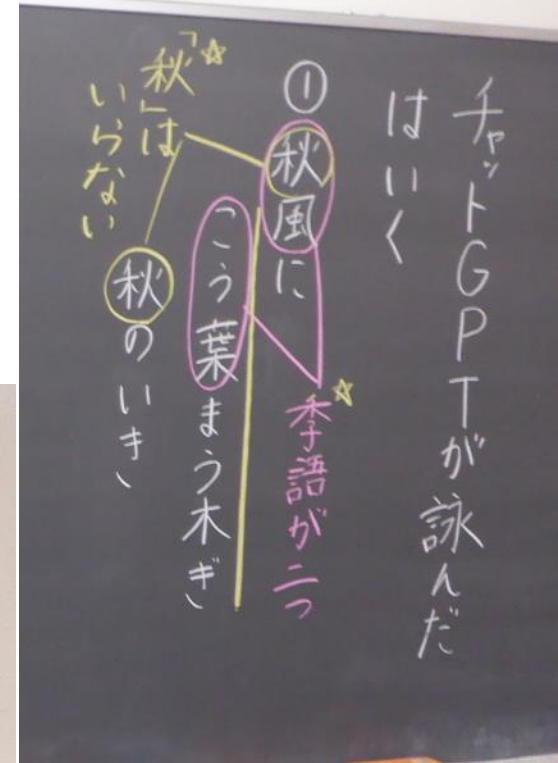
＜教育利用＞ ②生成AIより表現豊かな俳句をつくるには？

【教師の生成AI利用】 3年国語「きせつの言葉3 秋のくらし」

本実践は、秋を連想する言葉を使って、その季節らしさを表現するものである。導入場面で、テキスト系生成AIに作らせた俳句を提示し読み取らせる。

「秋」という言葉が重複していたり、「秋風」と「紅葉」の季重なりになっていたりする点に着目させ、「自分だったらどう作る？」という課題意識を生む。

すると、児童は「テキスト生成系AIには負けないぞ。」と気持ちを高めて創作活動に向かう。「秋という言葉を使わなくても『紅葉』だけで秋が伝わるはずだ。」と気付いた児童は工夫して創作しようとしていく。



授業の後半では、児童が自由に言葉を吟味しながら俳句を作っていく。教師が机間指導しながら、なぜその言葉を選んだのかを問うことで、言葉選びに対する自分の考えを確かなものにさせていく。